

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	理念の共有と実践に関して	全職員、新任職員も含め、グループホームの理念を理解し、実践を目指す。	グループホームクオンの理念「家温、久遠、最音を理解し、理念について、込められた内容を理解する機会を作り、話し合い、十分に理解してケアに取り組めるようにする。	12ヶ月
2	4	運営推進会議に関して	コロナの状況にて書面での開催ばかりのため、実践できるように運営推進会議の開催に努めるようにする。	こちらからの訴えばかりではなく、意見をいただけるように工夫をする。意見をもとに運営やサービスに反映させる。	6ヶ月
3	20	馴染みの人や場との関係継続の支援に関して	関係継続については、現状では難しい状況にあるが、会えない状況下での関係継続を支援する。	関係継続をどのようにするか、職員間で話し合いをする。顔なじみの方の写真を預かり、部屋に飾るなどして、会えない状況でも思い出すことや忘れないように工夫する。日常の会話の中で話題にする。	12ヶ月
4	35	災害対策に関して	災害に備えた避難方法を全職員で共有しておく。地域住民の方へも協力を得られるように、関係づくりを行なっていく	災害時、避難訓練マニュアルの見直しをする。マニュアルの共有。火災訓練の実施、指導や講習を受ける。運営推進会議などで近隣の方との交流ができるように努める。	12ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。